

Kanayamachi Rakuichi

金屋町楽市 in さまのこ 芸術文化学部地域連携プロジェクト

富山大学芸術文化学部教授 武山 良三



高岡鋳物発祥の地であり、今も江戸時代以来の町並みが残る金屋町において、2008年から始めた地域連携事業「金屋町楽市inさまのこ（以下金屋町楽市）」は、2012年で5回目を迎えました。テーマを茶道の言葉である「和敬清寂（わけいせいじゃく）」とし、亭主（提供する人）と客（提供される人）がお互いを思いやり、清らかな心をもって美しい物（工芸）や空間（町並み）を楽しめるよう企画を練りました。室町時代中期の茶人で、佗茶の創設者とされる村田珠光（むらた じゅこう）が、「用の美」に準じて「心の文」を著したことに着目し、本来工芸に求められる生活要素である「用」の重要性を金屋町楽市から発信していくことを目指しました。茶席「洗心席」、「直心席」、「唯心席」、そして展示茶席「無心席」は、今年度のコンセプトを象徴する企画として開催しました。

記念シンポジウムでは、「金屋町楽市と日本的まちづくり」をテーマに、まず東京藝術大学教授で彫刻家の藪内佐斗司（やぶうち さとし）氏が基調講演を行いました。続いて三菱地所株式会社美術館室展覧会プロデューサーの恵良隆二（えら りゅうじ）氏、経済産業省大臣官房参事官の田所創（たどころ はじめ）氏、高岡市長の高橋正樹氏をパネリストに、本学部教授（当時）で金屋町楽市の実行委員長である伊東順二がコーディネーターとなってパネルディスカッションを行いました。藪内氏からは、奈良の大仏をはじめとして現存する大仏の多くが江戸時代、特に元禄期に修復が行われていたこと、それが民間の資金で行われていたことが紹介されました。また、優れたまちづくりや文化的な取り組みが、地方から発信されていたことが指摘され、金屋町楽市には、そのような生産拠点からものづくりだけでなく、文化を発信しているところに価値があるとの評価がありました。

続くディスカッションでは、田所氏から長浜市で行われた古い町屋の再生事業について、恵良氏から江戸の街区を引き継いだ丸の内の再開発事業についてCGを交えて説明が成されました。高橋市長からは、高岡市が歴史

都市の認定を受けて回遊性のある都市整備を進めている点、その中において金屋町が重要なポジションにあることが述べられました。

金屋町一帯を美術館に見立てた「ゾーンミュージアム」では、招待作家や、富山ガラス工房、金沢卯辰山工芸工房、高岡市デザイン・工芸センターの推薦作家、一般公募作家など総勢102名が約3,800点に及ぶ作品を展示しました。特徴的な展示としては畠家が陶芸家・大樋年雄氏の作品だけで構成され、さながら個展のような展示空間がつけられました。作家・来訪者共に良い評価を得られたことから次年度以降の展示手法として、可能性を得ることができました。

茶会と並んで伝統的文化を体験する取り組み「きもの通り」では、和装を楽しむだけでなく、学生企画によるファッションショー「KANAYAこれくしょん」が開催されました。モデルが独自に着こなした「ハイカラMIX」では、着物のあらたな楽しみ方が提案され会場は大いに盛り上がりました。

作品展示からショーの企画まで、5年目になって、ひとつひとつのプログラムを充実させること、学生が自主的に参加できる領域を拡大することが進みましたが、これに加えて他地域との連携も進展がありました。クラフトイベントとしては全国的に知られている「クラフトフェアまつもと」に2011年より授業の一環として見学会を行って来ましたが、このことがきっかけとなって当該実行委員会から大島健一実行委員長と、NPO法人松本クラフト推進協会理事でありクラフトフェアと関連した町並み整備に取り組んでいる倉沢聡氏を分科会に招くことができました。クラフトフェアがつなぎ手となって、つくり手とつかい手の交流が促進されている一方、市場規模や市民の関心という点では一層の努力が求められること、そのために同じ目標を持っている松本と高岡が連携を促進させて地力をつける必要があることなどが確認されました。



主な開催内容

● 記念シンポジウム：

実施日：9月21日（金）

午後6時30分～午後8時

実施会場：高岡市生涯学習センター4階ホール

テーマ：「金屋町楽市と日本のまちづくり」

基調講演：「今、学ぶべきは江戸の知恵」

藪内佐斗司（彫刻家・東京藝術大学大学院教授）

パネルディスカッション：

・藪内佐斗司（彫刻家・東京藝術大学大学院教授）

・恵良隆二（三菱地所株式会社

美術館室展覧会プロデューサー）

・田所 創（経済産業省大臣官房 参事官）

・高橋正樹（高岡市長）

コーディネーター：

・伊東順二（富山大学芸術文化学部教授）（当時）

参加者：約35人

● 分科会：

実施日：9月22日（土）

午後6時30分～午後8時

実施会場：神妙寺

テーマ：「クラフトイベントとまちづくり」

メインゲスト

・大島健一（クラフトフェアまつもと実行委員長）

・倉沢 聡（NPO法人松本クラフト推進協会理事）

コーディネーター：

・貴志雅樹（富山大学芸術文化学部教授）

・武山良三（富山大学芸術文化学部教授）

参加者：約35人

● 作家交流会

実施日：9月22日（土）午後8時30分～午後10時

実施会場：宗泉寺

参加者：約80人

● 金屋町楽市ゾーンミュージアム

実施日：9月22日（土）、23日（日）

午前10時～午後5時

実施会場：メイン会場：高岡市金屋町石畳通り周辺

通行量調査：2日間で約24,000人

作品展示・販売

出展者：102名

作品総数：約3,000点

売り上げ：1,851,718円（820点）

● コンペティション「第3回金屋町賞」

対象者：18歳～35歳の作家51人

審査員：伊東順二、貴志雅樹、武山良三、
相川繁隆、高川昭良

審査結果：金屋町楽市賞【大賞】岩瀬明子

金屋町楽市賞 梶原朋子

金屋町審査員特別賞 斉藤裕史

金屋町審査員特別賞 鈴木晴子

● 金屋町大茶会「楽庵」～無一心～

実施日：9月22日（土）、23日（日）

午前10時～午後4時30分（一客一亭は午後5時）

席名・場所：

洗心席 藪内流 於：宗泉寺

直心席 金屋町婦人部 於：三角公園

唯心席 シンプリシティ 於：小泉家

無心席 特別展示茶席 於：金森藤平家

一客一亭・金屋町地内5箇所

来場者：約300人（一客一亭を除く）

● 金屋町きもの通り

実施日：9月24日（土）、25日（日）

午前10時～午後4時

実施会場：金屋町石畳通り

参加者：和装モデル115人、貸衣装利用者53人、
着物姿の来場者多数在り



●食のイベント

- 実施日 : 9月22日(土)、23日(日)
 午前10時～午後4時30分
 実施会場 : フジチュウ駐車場、鋳物資料館第三展示室
 内容 : (場所・出店者)
 ・甘味処 (鋳物資料館第3展示室・金屋町自治会婦人部)
 ・KUMACafé (藤田家ガレージ・和風カフェ次元)
 ・屋台ブース (フジチュウ駐車場・高岡市内のお店)
 ・ビアガーデン (金屋緑地公園・ジャカッセ)

●土産物認定

- 実施日 : 9月22日(土)、23日(日)
 内容 : 金屋町等の13店舗の商品を認定

●瓦版の発行

- 実施日 : 9月22日(土)、23日(日)
 発行回数 : 5回(各400部)

●学生バンドの演奏

- 実施日 : 9月23日(日)
 実施場所 : フジチュウ駐車場前、金屋緑地公園

●鋳物のワークショップ

- 実施日 : 9月22日(土)、23日(日)
 実施場所 : 宗泉寺前駐車場
 参加者 : 73人

●とんぼ玉のワークショップ

- 実施日 : 9月22日(土)、23日(日)
 実施場所 : 金屋緑地公園
 参加者 : 73人

●「楽ぼん」抽選会

- 実施日 : 9月24日(土)、25日(日)
 実施場所 : 本部前
 参加者 : 約450人
 内容 : 2,000以上買上者を対象とした抽選会。中村信喬、野田雄、富山ガラス工房作家作品を景品に実施。

●さまのご寄席

- 実施日 : 9月15日(土) 午後7時～午後8時30分
 会場 : 宗泉寺
 出演者 : 三遊亭遊馬(落語)、神田きらり(講談)
 参加者 : 約151人



クラフトイベントとして全国的に知られる「クラフトフェアまつもと」を授業の一環として見学、松本と高岡の連携づくりを始めた。



空間づくりから工芸品の展示まで学生が全面的に関わり、高岡市をはじめとする関係者と協働して金屋町楽市を支えている。



金屋町楽市 in さまのこ 和敬清寂

【開催期間】平成24年9月22日・23日

【来場者数】23,000人

【主催】金屋町楽市実行委員会

〔委員長〕富山大学芸術文化学部 教授 伊東順二(当時)

〔副委員長〕金屋町自治会 代表：加藤昌宏

〔副委員長〕富山大学芸術文化学部 教授 貴志雅樹

〔副委員長〕富山大学芸術文化学部 教授 武山良三

〔委員〕

東京大学 教授：隈研吾

富山大学芸術文化学部 講師：横山天心

金屋町自治会 代表：佐野正平

金屋町自治会 代表：嶋田一成

金屋町自治会 代表：般若陽子

金屋町自治会 代表：新保智子

富山ガラス工房 館長：野田雄一

金沢卯辰山工芸工房 館長補佐：村上潤

茶道 藪内流：小久保瑛子

茶道 裏千家：小泉昇

岡商工会議所 産業振興部長：上田耕一

高岡市観光協会 総務部長：宮林照男

高岡市商業雇用課 課長：楠達男

高岡市生涯学習課 課長：放生稔

高岡市デザイン・工芸センター 所長：高川昭良

〔学生委員〕

富山大学芸術文化学部：高橋由佳/澤口志帆/

今泉真貴/谷川あい/山本美智

【空間構成】隈研吾

【協力】伊東順二事務所(ジェクト)：池上留理子

【事務局】金屋町楽市実行委員会事務局
(高岡市産業振興部商業雇用課/高岡市観光協会)

【後援】富山県/株式会社北日本新聞社

【協賛】三協立山株式会社/三芝硝材株式会社/
アクタス富山店/和楽庵/藤岡敦子礼法きもの学院

【出展者】招待作家：

相川繁隆/赤地径/天野喜孝/荒木寛二/

有永浩太/今泉今右衛門/岩崎晴彦/植埜貴子/

大澤光民/大野悠/大樋年雄/緒方慎一郎/

川上和歌子/桐本泰一/隈研吾/黒田昌吾/

小曾川瑠那/鳥田宗吾/中里花子/中村康平/

中村信喬/野田雄一/橋本夕紀夫/畠春齋/
般若保/村本真吾/森岡希世子/藪内佐斗司

公募作家：

伊藤成二/岩瀬明子/tomocoubou/大澤真琴/

田中雅樹/生地史子/豊田恭子/鳥内あかり/

隼瀬大輔/福田昭一/前川淳蔵/前田秀子/

松下純一/松島志織/松島しづ/松本尚子/

森明宏/森和彦

金沢卯辰山工芸工房：

浅野恵理子/石永知美/恩地牧人/加藤裕也/

川村友美/姜旻杏(カンミンヘン)/小林亜弥香/

齊藤晃子/杉原万理江/野口健/半田濃史/

東元生/保木詩衣吏/横山翔平

富山ガラス工房：

阿部良子/岩瀬明子/梶原朋子/河原林洋行/

岸本耕平/熊谷峻/小島有香子/古城祐美/

齋藤裕史/佐々木俊仁/佐野猛/佐野曜子/

篠崎恵/小路口力恵/白藤晴久/竹田舞由子/

時澤真美/中村敏康/野口知恵子/

藤井友梨香/藤岡和典/松下祥子/光井威善/

森康一郎/山本詩子/渡邊彰子/和田修次郎

高岡市デザイン・工芸センター：

青木有理子/内島正雄/尾崎迅/折井宏司/

齊藤慎二/櫻井マキ/鈴木晴子/中島ゆり恵/

畑勝日佐/武蔵川裕実/山崎義樹/山本瑞生/

株式会社高田製作所/株式会社能作/ハヤシ製作所

富山大学芸術文化学部学生

【展示什器協力】隈研吾建築設計事務所/

三協立山株式会社/

三芝硝材株式会社

富山大学芸術文化学部学生